

# 思春期のリプロダクティブ・ヘルス教育

齊藤 英和

## Summary

思春期のリプロダクティブ・ヘルス教育は、将来成人したときに計画性をもってリプロダクティブ・ヘルス/ライツを実践できるリテラシーを得るうえでも重要であり、①思春期の身体の成長、②性感染症、③避妊、④妊娠適齢期について解説する。

## Key words

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ  
第二次性徴  
性感染症  
避妊  
妊娠適齢期

## はじめに

日本産科婦人科学会編集の『産科婦人科用語集・用語解説集 改訂第4版』では思春期とは女性において第二次性徴出現から初経を経て月経周期がほぼ順調になるまでの期間、年齢的には8～9歳ごろから17～18歳ごろまでの間で、乳房発育に始まり、陰毛発生、身長増加、初経発来で完成する、と定義されている。

また、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」は1994年にカイロで開催された国際人口開発会議において、4つの権利を基本にした概念としてはじめて提唱され、性や子どもを産むことに関わるすべてのことにおいて、身体的にも精神的にも社会的にも本人の意思が尊重され、自分らしく生きることができる良質な健康環境にあることであり、またその状態を享受する権利をリプロダクティブ・ライツといわれている。

将来成人したときに計画性をもってリプロダクティブ・ヘルス/ライツを実践できるリテラシー、すなわち健康に関する情報を入手し、内容を理解、評価したうえで、より適切な選択肢を選び行動する能力を身につけることができるために必要な知識を思春期の時期に学ぶことは重要であり、思春期に学ぶべき項目のうち、特に①思春期の身体の成長、②性感染症、③避妊、④妊娠適齢期について解説する。

Hidekazu Saito

栄賢会梅ヶ丘産婦人科 ART センター長